

## 第6回日立市新庁舎建設市民懇話会会議録

1. 開催日時 平成25年5月29日(水) 午前10時～正午まで

2. 開催場所 日立市役所 議会第1・第2会議室

### 3. 出席者

(1) 新庁舎建設市民懇話会委員

小柳委員(会長)、富樫委員(副会長)、有賀委員、金子委員、小室委員、佐々木委員、佐藤委員、柴田委員、白土委員、館岡委員、沼田委員、橋本委員  
以上12名(欠席 秋山委員、志賀委員)

(2) 事務局

佐藤総務部長、(新庁舎整備局)岡部局長、大平課長、佐藤副参事、助川課長補佐、田村係長、加藤主幹、豊田  
以上8名

(3) 設計事務所

湯浅氏(SANAA事務所) 以上1名

(4) 傍聴者

読売新聞、朝日新聞、常陽新聞、茨城新聞 以上4者

### 4. 会議資料

(1) 会議次第

(2) 資料1 平成25年度日立市新庁舎建設市民懇話会委員名簿

(3) 資料2 日立市新庁舎建設市民懇話会設置要綱

(4) 資料3 日立市新庁舎建設市民懇話会の進め方について

(5) 資料4 設計コンペ案

(6) 資料5 基本設計案(中間報告)

### 5. 会議内容

**会長**：昨年度は、この市民懇話会で皆さんから忌憚のない意見をいただき、素晴らしい提案ができたと思っている。今後の実施設計でも意見をいただきながら素晴らしい庁舎建設を考えている。今日は設計事務所SANAA事務所の方にも来ていただいている。ぜひ市民の立場から忌憚のない意見をどんどん出していただきたい。SANAA事務所には市民の声を是非参考にしていただき、使いやすく市民が誇れる市庁舎にしてほしいと思う。協力をお願いしたい。

**副会長**：この懇話会では、皆様方の英知を結集し、実りある提案をしていきたいと思っている。よろしくをお願いしたい。

**事務局**：(資料4「設計コンペ案」及び資料5「基本設計案(中間報告)」について説明)

**会長**：かなり具体的なことが入っているので、質問や意見をいただきたい。1階の市民課の配置が変更になるような話があったが、課の配置というのは、ある時期に変更ということはあるのか。

**事務局**：今のところ市民課は、ここで配置提案されているが、基本設計の中で変更の可能性はある。

**会長**：基本的には、決まればある程度長い間、そこは市民課で使うということか。土日開庁があると構造的にも開庁に対応できるような位置、あるいは構造が必要になると思う。

**事務局**：今、SANA事務所と協議しており、今回の案の位置で十分に区分できるということであればこの位置で決まっていく。しかし、その位置では土日開庁に伴い、セキュリティー面から、この位置ではまずいということになれば、別の位置になっていく可能性がある。

**委員**：1階にトイレはないのか？

**事務局**：執務スペースにはトイレの設置がまだ検討されていないが、1階エントランス付近に大きなトイレを設置してある。しかし、執務する側にトイレがないので配置の見直しをしている。

**委員**：駐車場が複雑である。何度か来ている人はいいが、初めての人は戸惑うと思う。全体の流れがわかるような形で入口があるとよい。

**会長**：駐車場に通路が多いので、分かりにくいと思う。交通広場が交差点に近すぎる。敷地の北側は出入りが可能なのか。

**事務局**：出入り可能とする予定である。

**会長**：出入り可能とするならば、出入口が多く非常に分かりにくいので誘導サインが必要だと思う。

**事務局**：交通広場の位置については、国道6号交差点から近いということで、協力会社の道路計画専門の部署と検討をしているところである。

**委員**：駐車場には障害者用駐車場だけでなく、高齢者用、妊婦用などを専用スペースとして作ってはどうか。

**会長**：西側のところか。

**委員**：障害者用駐車場に障害者以外の方が停めることで、障害者が停められなくなるケースが多い。

**事務局**：基本計画の中では、思いやり駐車場という捉え方をしており、障害者だけでなく妊婦の方や高齢者の方も使える形で検討したい。

**委員**：そうすると、早い者勝ちになってしまって来庁時に障害者の方は停められないということになる。駐車台数を増やす、あるいは高齢者用と障害者用を分けることも考えてほしい。

**局長**：今後、十分検討する。

**会長**：車いすの方は西側から入るとの想定だが、送迎による場合などは表側の交通広場で降りる。その時に、アプローチしやすいかどうかについても検討が必要である。

**委員**：是非、アプローチしやすいフラットな広場を考えていただきたい。

**委員**：今回の設計で、特に目立つのは大屋根である。強風の対策について、屋根の形などで風

の影響を和らげることはできるのか。

**設計事務所**：日立市の気象条件を調査し、強風の時に大屋根の下がどのような状態になるかをシミュレーションしながら高さなどを検討している。

**委員**：交通広場のバス停から1階までの距離はどれくらいか。動く歩道を含め、そういう配慮が必要か。

**事務局**：全体の建物の幅が60メートルであるので、50～60メートルかと思う。その間、点字ブロックや誘導サインなども設置する。

**委員**：日立総合病院のようなカラーサインある。床の色彩によるサインで区別すると、庁舎内も明るくなるのではないか。

**委員**：大屋根の下の屋外広場は365日24時間開放されるのか。

**事務局**：そのように考えている。

**委員**：素晴らしい場所がありながら、上手く使われなくなるというのはもったいない。そうならないようにしなければならない。

**会長**：屋外広場は劇場が予定されていたり、多目的ホールやレストランが設置されるということで稼働率が高くなると思われる。

**委員**：良い環境を保ちながら、いろいろな人が集まってにぎわいを作るというのが目的だと思うので、運営の時には十分考えていただきたい。

**委員**：2階3階からは、海が見えるような設計になっているのか。

**事務局**：2階までは屋根の中であるため外は見えないが、3階部分から屋根の高さを検討中である。4階からは見えると考えていただきたい。

**委員**：市民の方が最上階に上がって360度のパノラマが見えるようなスペースがあるとよい。何か考えているか。

**事務局**：屋上の計画はないが、最上階の議会フロアに市民ロビーということでパノラマを見ていただくような空間を検討している。

**委員**：基本計画では地下に備蓄倉庫を設置するということがあったが、どのようになっているか。

**事務局**：SANA事務所の提案が大屋根ということで、支援物資などが大型車両で運ばれてくることを想定した場合、地下よりも大屋根の下がよいのではないかという提案もある。大型車両運搬時、強風時、夜間等も支援物資の搬入搬出が可能であるということから、大屋根の下を活用しようと考えている。今の案ではレストラン棟の一部に倉庫が設置されており、そこを防災倉庫と考えている。

**委員**：是非、防災関係を充実させて設計していただきたい。

**会長**：市民ロビーが廊下だけのイメージであるが、もう少し市民が集まれるような空間にはならないか。

**事務局**：配置計画の中で、設計事務所と検討していく。

**会長**：備蓄倉庫は、大屋根の下に設置ということだが、食糧などの備蓄倉庫的なものか。

**事務局**：レストラン棟の中にある倉庫であることも踏まえ、検討している。

**会長**：ある程度の期間、必要量が上手く収まるような設計をしていただきたい。

**委員**：市役所の玄関となる総合案内所はどのようなものになるか。

**事務局**：どのエントランスから入ってもわかりやすい場所1か所に案内所を設置し市民の方を

誘導できるようにしたいと考えている。

**委員**：緊急事態発生の場合を想定し、来庁者への対応やその訓練などを考えているか。

**事務局**：東日本大震災から2年ということで、職員自ら避難誘導路の確保や来庁者の誘導などの訓練を始めている。ハード面でも安全に誘導できるような工夫を設計事務所に要望していく。

**委員**：障害者にとって、緊急事態は非常に恐怖である。緊急時対応の訓練がしっかりされていれば、パニックになることも少ないと思う。

**委員**：建物の耐震性は大丈夫か。強風の時など、大きな屋根は非常に心配である。

**事務局**：コンペ案では免震部分が本体だけであったが、現在は屋内広場まで免震構造を広げることで検討している。大屋根の部分は免震ではなく耐震で考えている。

**設計事務所**：耐震でも十分な強度を確保して設計していく。

**委員**：1階の待合スペースは足りているか。

**事務局**：部署ごとの来庁者数を調査しており、その数字から必要なカウンター数を決めていきたい。

**委員**：屋外広場の夜間の管理はどのようになるのか。

**事務局**：夜間警備の手法については、まだ具体的な検討はしていない。現在、24時間警備が入り、敷地内の管理も含め、臨時庁舎や仮設駐車場も管理しているが特に問題は起きていないので同じ体制を考えている。今後、十分検討をしていく。

**委員**：大屋根から空は見えるのか。

**事務局**：屋根については、斜め部分がコンクリート製で縦の部分はガラスが入るという作りになっている。そのため、下から見上げると青い空が見えるということではない。光は入るが空は見えないということである。

**委員**：大屋根の掃除等はどのようになるのか。

**設計事務所**：掃除がしやすい屋根にしたいと考えている。具体的には、立ち上がりをつけて、ガラス部分にはゴミが溜まらないようにし、溜まったとしても掃除をしやすくするなど、今後実施設計を含めて検討していく。

**委員**：各フロアにある多機能トイレについて、すべて同じ機能の造りになっている。障害にも種類があるので、求められる機能を分散させた多機能トイレであるとよい。

**事務局**：頂いた意見を是非反映させるようにしたい。

**委員**：屋外広場の照明はどのような形になるか。やはり冬場と夏場と、また防犯的な意味において何時くらいまでの照明にするのかなど基本的な考えを教えていただきたい。

**事務局**：大屋根の照度について、コンペ案での3,500ルクスは昼間の明るさであり、夜間についてはまだ十分に把握していないため、照明については検討中である。また、交通広場についても路線バスを夜間まで入れるか入れないか等を含め協議中である。周辺施設の利用状況を見ながら今後検討していく。

**副会長**：地下については、浸水した場合の対応策などを考えているか。

**事務局**：周辺に河川があるが、大雨でも逸水しないような大きな断面で改修を行っている。万が一、水が地下へ入った時の排水等について十分考慮し排水能力を確保していきたいと考えている。

**委員**：照明については、色ひとつで犯罪の発生率が上がったり下がったりするので、広場の夜間照明の色も十分検討していただきたい。

**会長**：照明にもいろいろな色があるので、十分検討いただきたい。西日に対するルーバー機能は上手くいくのか。

**設計事務所**：西日に対して、どれくらいの入射角でどれくらいの長さが必要かなども含めて検討している。市役所の開庁している時間は西日が遮られるような長さにはしているので問題ないと思う。

**会長**：大屋根について、基本計画案では雨水を集水するとあったが、水は何かの利用を考えての集水なのか。

**設計事務所**：地下に集水をして多目的な利用を考えているが、水質などいろいろな条件があるので、今後利用方法などを検討したい。

**会長**：上手く利用できるとよい。

**委員**：設計事務所として、点字ブロックをどのように考えているか。

**設計事務所**：点字ブロックの問題として、量が多すぎて車いすの方のバリアになってしまうことがある。最近は様々な種類の点字ブロックがあり、中には材質が異なるもので切り替えることでバリアを解消するような方法もあるので、多方面から検討したい。

**委員**：見た目や景観だけを重視することなく、安心して歩行できるようにしてほしい。

**設計事務所**：もちろん見た目も配慮はするが、使用する方を含めて総合的に満足できるような形でバランスを取ってデザインさせていただきたい。

**会長**：外構に関する検討はどの程度議論できるか。植栽を含めて具体的なものを懇話会で議論できるか。

**設計事務所**：現在、交通の動線や駐車場の配置を優先的に計画しているので、植栽計画等については今後計画をさせていただきたい。

**会長**：皆さんからたくさんの意見をいただいた。議題については以上である。

**事務局**：次回の日程についてであるが、委員の皆さんのご意見、ご要望を反映させるべく設計事務所と協議し、基本設計案の修正案を作成したい。そのため、詳細の日程については、修正の進捗状況を踏まえ、会長、副会長と協議し各委員にご通知したい。

以 上